

確認事項 (H16年度～)

1. 選手変更について
 - ・メンバー変更は連続する大会日程の時は、変更不可能！ただし、1日でも間があいた場合は変更可能。大会期間が連続で開催されない場合、選手変更を許可する。
ex. 大会が〇月3日(土)と〇月5日(月)の場合。3日・5日の両日変更可能
2. 鳴りものを使用しての応援
 - 高校での使用
 - ・高校会場の体育館での鳴り物の応援は従来から使用しているペットボトル・メガホン・ばち・しゃもじなどは使用可！
但し、手すりなどを体育館の器物をたたかないように各チームは配慮しておこなう。また、大会本部が不適切と判断した場合、使用を禁止してもらう。
 - 公共施設での使用
 - ・ブラスバンド等、上記以外の鳴り物を使った応援の場合、公共の施設のみで使用可とする。ただし、公共の施設管理者からの要望がある場合、また、大会本部が使用を見送った方がよいと判断した場合、使用を禁止する。
 - ・応援席・場所については競技運営上支障にならない場所で行い、大会本部から指示があった場合、それに従ってもらう。その他、席・場所については応援者同士の話し合いで行いトラブルについては各校で解決すること。
 - ・応援は主審のサーブの吹笛前から主審のジャッジが行われるまでは行わない。
3. 参加資格
 - ・「同一学年での出場は1回限りとする」の解釈について(原級留置や年度途中で退学して転校等する場合に限られる。) H16年度から「出場＝コートに立つ」と考える。つまり、ベンチに入っても実際コートに立たなければ出場したことにはならない。と解釈される。(従来は「入部＝出場」となっており、入部した時点で出場したことになっていた。) よって、競技部としては
 - ①県内の各支部の地区大会からの記録用紙(1F)を3年間保管する。
(地区大会は地区の支部責任者が保管・県大会は競技委員長が保管)
 - ②県外からの転校してきた部員の場合。選手の自己申告とともに、現監督が前の学校に必ず確認をとり、競技委員長へ報告する。競技委員長と総務委員長は独自に確認を取り、もし違反がわかった場合は試合を無効とする。
 - ③外国人留学生についてはパスポートで年齢を確認する。
4. 引率
 - 当該校の職員(校長も可能になった)
 - *引率問題があるので詳細は校長に相談し、了承を得ること。
 - 要項の文言では
引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。引率者は、全ての行動に対して責任を負うものとする。ただし、監督が非常勤講師又は外部指導者の場合、引率責任者が必要
5. 監督
 - ・校長が認める指導者＝外部指導者も可能。
要項の文言では
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。(保険証の写し等を大会本部に提出すること)
6. ベスト8の次大会組合せ時の取り扱い。
 - ・選手権大会は県総体ベスト4を固定し、セカンド4は前回大会で1位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮し、抽選を行う。
 - ・春季大会は新人戦の順位に従って、4位の内シードに5位を配置、6位は3位の内シードとする。残りのベスト8のチームは抽選によって決定する。ただし、前回大会で1位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮する。
県総体は春季大会ベスト4を固定し、セカンド4は前回大会で1位チームと対戦したチームが再び対戦しないように配慮し抽選を行う。
 - ・県総体予選の抽選は地区総体の結果をもとに各地区1位を抽選時にシードしたがH16年度よりフリー抽選とする。
(シード校以外の抽選の件)
7. 大会要項に大会使用球を明記する。
8. 新人大会の最終日(順位決定戦)は試合のないチームから補助員を出し合う。
9. 開始式後は第1試合のチーム以外は早急にフロアー外に出ること。

10. テレビ放映がある大会日のプロトコールはVリーグ方式で行った。(選手権大会は公式練習5分で)また、試合前のコートを使った練習は10分間とした。
11. 各支部で行われる県大会会場の公共の体育館は、その支部にある公共施設を使用する。
12. 申込みについて
 - ・地区大会申込の時に6名に満たないチームの申し込みは受け付けない。(但し、合同チームの場合は要項に従う。)
 - ・春季大会の新1年生の申し込みの取り扱い。入学式以前に大会がある場合は、学校長の許可があれば出場可能である。
13. H21年度から大会のエントリーが12名→14名(最大14名の競技者で構成してよいがリベロをのぞく正規競技者は最大12名)。リベロプレーヤーゼッケンの使用禁止とする。
14. H23年度よりJVAMRS(個人登録システム)よりプリントアウトしたチーム加入選手一覧は春季支部予選から必ず提出をしていただく。
15. 申込用紙に引率責任者欄を設けた3名+
16. 県総体・選手権大会において、準決勝・決勝の男女の順を年度で変更した。H25年度は男子を先、女子を後とした。
17. 競技開始時間の定義をホイッスルの時間とし、3セットマッチは原則11分前をプロトコールとする。
18. 新人戦競技方法を変更した。支部大会を実施しシード順を決定。支部大会に参加したチームをすべて県大会出場チームとした。また、最終日1位リーグ4位と2位リーグ1位を対戦させ最終順位を決定した。
19. 構成メンバー表提出について変更した。
20. 開会式・開始式の時間を変更して、第1試合の該当チームに配慮した。
21. 構成メンバー用紙の様式を変更した。リベロの記載のないものを利用し、試合前監督に記入してもらうこととした。
22. 新人戦競技方法を変更した。順位決定のためリーグ戦を行っていたがリーグ戦を廃止し、順位決定トーナメント戦とした。
23. 新人戦順位決定トーナメントの対戦相手は3日目終了後抽選を行った。セカンド4は最終代表を決定するだけで7~8位は順位付けしない。
24. 新人大会をフリー参加の大会から支部予選を通過した支部代表形式の大会とした。
25. 合同チームの合計人数が6名を超える場合は、出場を優先するが、構成チーム数が最小となるようにする。
例 5名+5名+5名・・・可 3名+3名+3名+3名・・・不可 → 3名+3名と3名+3名・・・可

反省事項

協議事項

1. 支部予選を行う大会においての各支部出場校割り当て

基準となるもの

前年度新人戦参加チームを参考データとして算出基準とする。その基準は過去5年間のチームから平均化したものとする。参加チーム比率をカッコ内に示す(支部参加校数/全参加校数)

| | | | |
|--------|---------------|------------|-----------|
| 参加チーム数 | 男子：備前15(0.37) | 備中20(0.49) | 美作6(0.15) |
| | 女子：備前23(0.43) | 備中22(0.42) | 美作8(0.15) |

上記のデータをもとに春季大会・新人戦の代表チーム枠を算出する。

春季大会支部代表枠 男女とも16

| | | |
|--------|-----|-----|
| 男子：備前6 | 備中8 | 美作2 |
| 女子：備前7 | 備中6 | 美作3 |

新人大会支部代表枠 男子24 女子28

| | | |
|---------|------|-----|
| 男子：備前9 | 備中12 | 美作3 |
| 女子：備前12 | 備中12 | 美作4 |